

河川のモニタリング調査（平成31年度調査計画変更案）

○：調査実施 ×：調査しない

調査項目		第1, 2期	第3期相模川	第3期酒匂川(案)	変更理由
水質	ph	○	○	○	<p><基礎生産量の調査中止について> 分析に使用するマイクロクロス(藻類をはぎ取るための布)について生産会社に在庫がなく、受注生産(20万円程度で3か月ほどかかる)となる。そのため、改めて過去の調査結果を確認し、調査の有効性について再検討したところ第1期、第2期の調査結果からも現在のところ有用な活用方法(指標化等)は見出されておらず、水質との相関も低く、高いものでも0.3程度(Pとの相関)で、現在行っている第3期の調査においても変動が激しく評価が難しい状態との調査会社からのコメントがあった。 以上のことから、基礎生産量については酒匂川の調査では実施を見送ることとした。</p>
	BOD				
	COD				
	SS				
	DO				
	窒素				
	リン				
	TOC				
基礎生産量	×				
動植物	底生動物、両生類(カエル、サンショウウオ)、魚類、鳥類、付着藻類、植物	○	○	○	変更なし
底河質床	河床材料、はまり石、川幅、勾配、瀬の割合	○	○	○	変更なし
その他	浄化槽効果確認調査	/	○	×	中間評価に用いるデータの収集が終わったため。
	河川水路自然浄化対策効果確認調査				
	相模湖流入水改善確認				
環境DNA	サンショウウオ類	/	一部の調査地点のみ分析まで実施し、残りの地点はサンプリングのみ実施	○(相模川分も分析)	<p><追加調査事項> ・河川での検出可能距離の検討</p> <p>生息状況の評価を行うための基礎的な情報となるサンショウウオの環境DNAの到達距離について検討を行うため</p>
	魚類			○(相模川分も分析)	
	底生動物	/	サンプリングのみ実施	○(相模川分も分析)	<p><追加調査事項> ・試料輸送工程における減耗量の把握</p> <p>相模川での試行的な調査から判明した、検出率を高めるためのいくつかの要因(季節、時間)について詳細な検討を行うため</p>
	カワネズミ			○(相模川分も分析)	

相模川 2 期

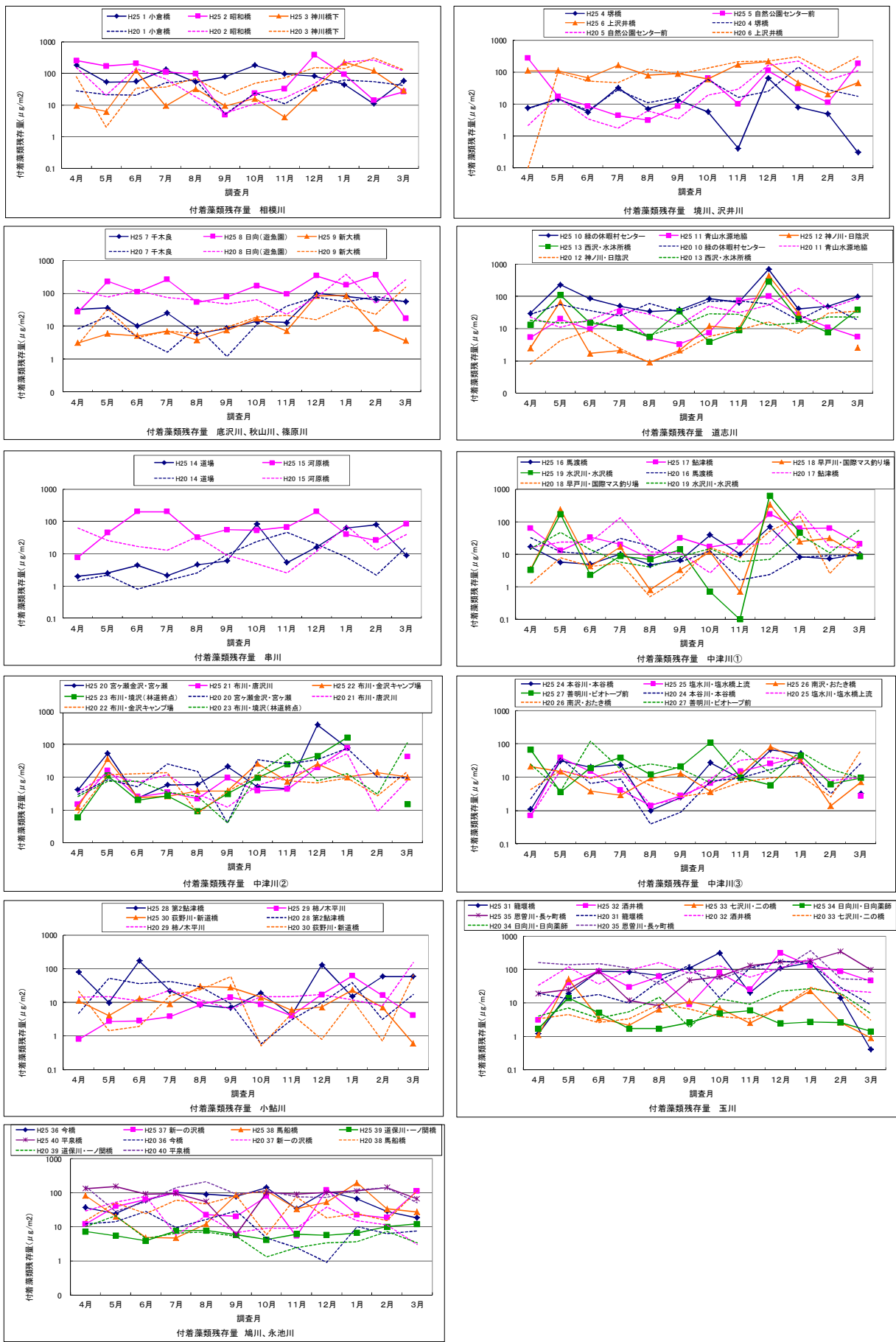


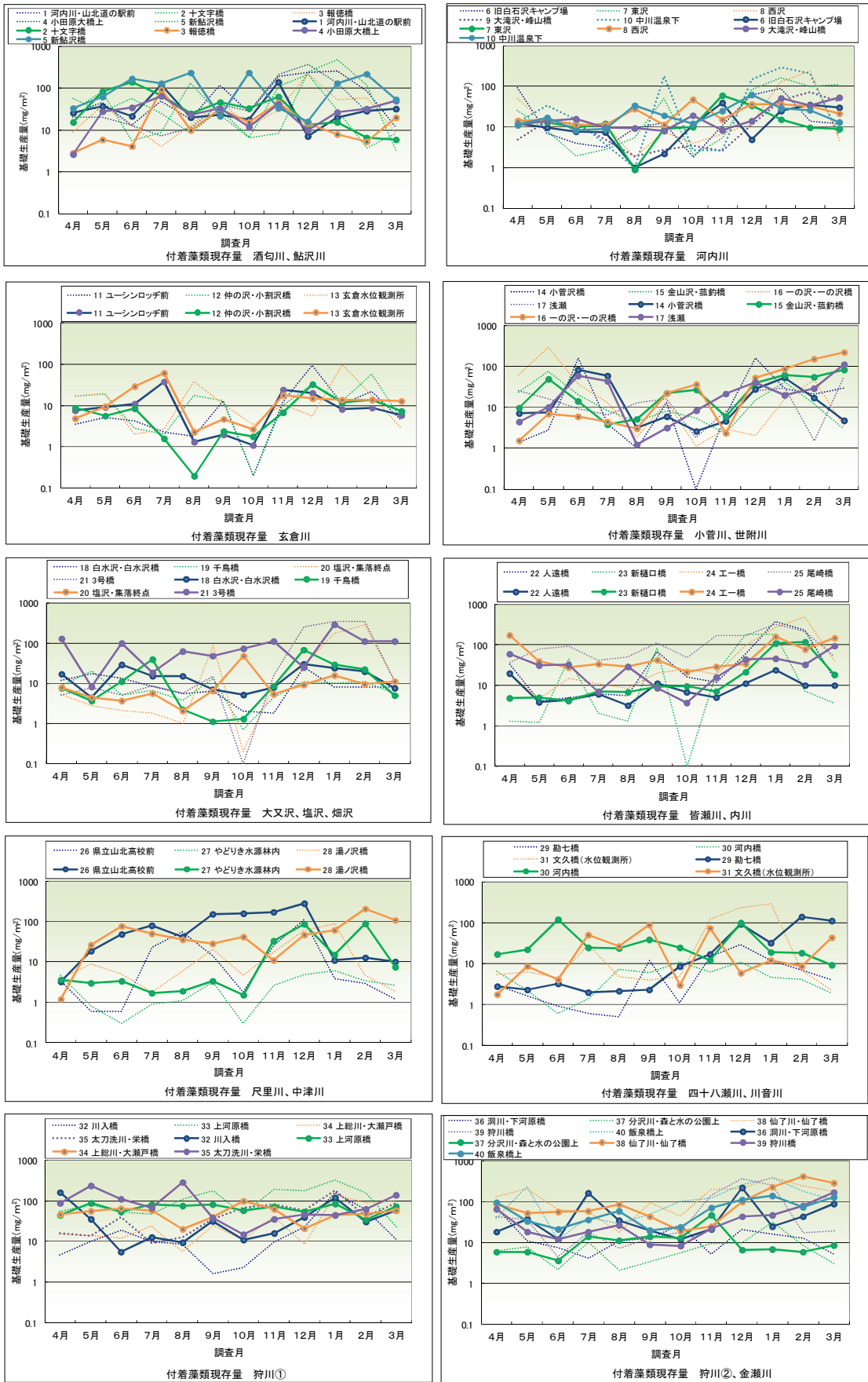
図5.3-3(16) 経月変化図(基礎生産量)

表6.1-1(2) 項目間の相関係数

相関係数

項目	1	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	16	17	18	19	
	水温	pH	BOD	COD	SS	DO	TOC	電気伝導率	基礎生産量	全窒素	溶解性窒素	硝酸性窒素	アンモニア性窒素	全燐	溶解性全燐	燐酸態燐	
水温																	
pH	0.407																
BOD	0.378	0.410															
COD	0.479	0.324	0.717														
SS	0.290	0.156	0.467	0.643													
DO	-0.703	0.134	0.030	-0.144	-0.075												
TOC	0.445	0.327	0.728	0.904	0.499	-0.103											
電気伝導率	0.271	0.419	0.535	0.629	0.294	0.115	0.658										
基礎生産量	-0.117	0.183	0.133	0.058	0.012	0.296	0.135	0.145									
全窒素	0.199	0.397	0.461	0.496	0.286	0.112	0.460	0.817	0.038								
溶解性全窒素	0.178	0.385	0.427	0.450	0.235	0.125	0.421	0.813	0.038	0.994							
硝酸性窒素	0.159	0.376	0.371	0.394	0.214	0.130	0.354	0.780	0.027	0.979	0.990						
アンモニア性窒素	-0.015	-0.083	0.411	0.431	0.173	0.037	0.513	0.394	0.102	0.265	0.234	0.149					
全燐	0.206	0.232	0.630	0.719	0.401	0.001	0.750	0.685	0.122	0.502	0.468	0.407	0.630				
溶解性全燐	0.181	0.296	0.443	0.490	0.178	0.000	0.530	0.628	0.091	0.447	0.443	0.425	0.185	0.817			
燐酸態燐	0.127	0.170	0.521	0.619	0.270	0.013	0.677	0.666	0.116	0.480	0.453	0.396	0.655	0.977	0.816		
		±0.500～±0.699		±0.700～±0.799			±0.800～±1.000										

酒匂川 2 期



凡例 実線：H26 年度 点線：H21 年度

図5.3-3(16) 経月変化図(付着藻類現存量)

表6.1-1 項目間の相関係数

相関係数

項目	1	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	16	17	18	19	
	水温	pH	BOD	COD	SS	DO	TOC	電気伝導率	付着藻類現存量	全窒素	溶解性窒素	硝酸性窒素	アンモニア性窒素	全磷	溶解性全磷	磷酸態磷	
水温																	
pH	0.542																
BOD	0.466	0.348															
COD	0.443	0.335	0.737														
SS	0.276	0.213	0.571	0.687													
DO	-0.813	-0.137	-0.159	-0.140	-0.016												
TOC	0.472	0.367	0.692	0.849	0.546	-0.160											
電気伝導率	0.351	0.442	0.474	0.566	0.417	-0.063	0.564										
付着藻類現存量	-0.030	0.232	0.257	0.213	0.158	0.233	0.174	0.295									
全窒素	0.229	0.200	0.625	0.534	0.341	0.025	0.533	0.591	0.230								
溶解性全窒素	0.208	0.187	0.597	0.502	0.296	0.032	0.513	0.586	0.226	0.996							
硝酸性窒素	0.222	0.203	0.565	0.472	0.277	0.014	0.483	0.585	0.213	0.989	0.993						
アンモニア性窒素	0.024	-0.042	0.592	0.359	0.190	0.096	0.341	0.208	0.159	0.676	0.669	0.615					
全磷	0.287	0.291	0.623	0.671	0.537	-0.009	0.683	0.627	0.318	0.613	0.598	0.582	0.341				
溶解性全磷	0.255	0.277	0.554	0.590	0.430	-0.004	0.627	0.610	0.312	0.583	0.574	0.562	0.304	0.988			
磷酸態磷	0.253	0.274	0.540	0.591	0.446	-0.011	0.622	0.619	0.312	0.566	0.557	0.545	0.276	0.987	0.996		
		±0.500～±0.699			±0.700～±0.799			±0.800～±1.000									